

留 学 報 告 書

記入日:2020年09月07日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	ハンガリー
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エトヴェシュロラード大学 現地言語: Eötvös Loránd University
留学期間	2019年9月～2020年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Faculty of Social Sciences <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年7月27日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9-1月 2学期:2-7月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	28,000
創立年	1635

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料		円	
宿舍費		500,000円	
食費		180,000円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		30,000円	
現地交通費		9,000円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		50,000円	
医療費		円	
保険費		約 100,000円	形態:by 明大サポート
渡航旅費		200,000円	
ビザ申請費		6,000円	
雑費		円	
その他		300,000円	留学中の旅費等
その他		円	
合計		1,400,000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:東京成田 目的地:ブダペスト 経由地:イスタンブール	
復路 出発地:ブダペスト 目的地:東京羽田 経由地:フランクフルト	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ターキッシュエアラインズ 料金:12万 復路 航空会社:全日空 料金:7万 ∴合計:19万円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: _____) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
SRSという大学幹旋のサイトを用いて探した。2セメスター目はFacebookや友人のつてなどを通じて探した。Facebookのコミュニティがあるのでそこから探したほうが割安。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
フラットメイトは運次第なので合わなければ引っ越すことをすすめる。夜遅くまでパーティーしているフラットもあるのでそうした環境に適應できるかはハンガリーに留学する上で非常に大切。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
外務省の情報やハンガリー人の友人の情報を参考とした。危険な人物とあった際は刺激せずできるだけ早くその場から離れるようにした。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	
Vodafone という会社と契約していたが比較的問題なく利用することができた。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?	
Revolut というオンラインバンクを開設し Transferwise というサイトを用いて日本の銀行から送金していた。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
めんつゆ	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
38 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 特になし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Challenges for the Hungarian Society	ハンガリーにおける社会問題
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	9-1 月
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 14 回
担当教授	
授業内容	ハンガリーの社会問題について
試験・課題など	期末試験のみ。非常に簡単でエラスムスの学生ほぼ全員が履修していた。
感想を自由記入	ハンガリーにおける移民問題やジプシーの歴史などを扱う。毎週テーマによって教鞭をとる教授が変わるが、ひたすら聴く。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Theories of international relations	国際関係論
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	Spring
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 14 回
担当教授	Szalai András
授業内容	国際関係論について、主要な思想を研究
試験・課題など	期末試験のみ
感想を自由記入	日本で国際関係論の思想を勉強していれば容易に理解できる内容である。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
East Asia, Taiwan and Japan via movies		映画からみる東アジア地域論	
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences		
履修期間	Spring		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が14回		
担当教授	Kopper Akos, Peragovics Tamás Ferenc		
授業内容	台湾や日本の歴史をドキュメンタリー映画を用いて分析		
試験・課題など	プレゼンテーション・エッセイ数本		
感想を自由記入	欧州の視点から自国を分析してみたいと思い履修。こちらの学生の日本へのイメージが興味深かった。Latin America		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Latin America		ラテンアメリカ政治論	
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences		
履修期間	Spring		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が14回		
担当教授	Sieber Luz Filho Jose Francisco		
授業内容	ラテンアメリカ地域共同体の概要理解・ラテンアメリカ諸国における人権や移民問題について		
試験・課題など	プレゼンテーション・エッセイ数本		
感想を自由記入	国連での勤務経験も持つ教授のものでラテンアメリカ諸国の問題について分析した。日本では学ぶことができないものであったため学びの多い授業であった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Geopolitics		地政学	
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences		
履修期間	Spring		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が14回		
担当教授	Akos		
授業内容	国際政治を地理学的に分析		
試験・課題など	プレゼンテーション・エッセイ数本		
感想を自由記入	日本では地政学の授業を履修できる大学がほぼないと思うので、こうした視点で国際社会を分析することは非常に面白いものであった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Media, Minorities, Migration	Media, Minorities, Migration
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が14回
担当教授	Robert
授業内容	移民・難民問題やマイノリティーの人権にフォーカスしディスカッション
試験・課題など	エッセイ数本
感想を自由記入	この授業は特殊なもので、受講する学生が東欧に住む現役のジャーナリストでありそれに ELTE の学生が特別に参加するものであった。毎週オンラインでアフリカやバルカン半島などで取材を終えたジャーナリストが自身の活動を伝えながら、それに受講生が反応するような形であった。この授業は、最も自身の考え方を改めさせたものであり、メディアのあり方やマイノリティーの人々についてより真剣に考えるきっかけとなった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Decision-making in the European Union	EUにおける意思決定過程
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	Spring
単位数	
本学での単位認定状況	5 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が14回
担当教授	Simon Zoltán Dr
授業内容	EUの成立過程からその機能や役割、Brexitについて
試験・課題など	期末試験のみ
感想を自由記入	インプットする情報量が莫大なため、しっかりと自分の言葉で噛み砕いて理解できるようにした

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

外資就活ドットコム・ディスコ・LinkedIn

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

衣料品メーカー

・志望理由 : 海外勤務できる早さが他業種と比べ早いと感じたから。また、自身のやりたいことのステップアップとして最適なファーストキャリアであると感じたから。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

自分はどのような人間なのか・そして将来どのようにになりたいのか、留学前から深く考えまとめておくこと。そして、留学を経てそれがどのように変化したのか見返してみたらよいと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	語学力向上に向け勉強
4月～7月	同上
8月～9月	インターンシップ参加
10月～12月	東南アジアへバックパッカーとして一人旅・就活に向け自己分析
2019年 1月～3月	長期インターンシップ参加
4月～7月	長期インターンシップ参加・ゼミ活動の本格化・滞在先確保
8月～9月	インターンシップ参加・留学準備・ビザ申請
10月～12月	海外旅行・就活に向け自己分析
2020年 1月～3月	期末試験・就職活動
4月～7月	期末試験・就職活動・帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

元々、志望先にハンガリーはありませんでした。希望先の選考で落選し二次募集がかかった際に、ハンガリーという日本人にとってはマイナーな土地でチャレンジな留学をしようということでこの地を選びました。

いまとなつてはこの街を選んで本当によかったと思っていますし、留学するには非常に最適な環境で後輩達にも推薦していきたいです。

ブダペストはナイトライフが充実しており物価も安いのでほぼ毎日飲みに出ていました。お酒を交えて話すことでお互いの中が深まり、一生付き合える友人関係を築くことができました。やはり、そうした環境下では積極的に意見を述べることで相手も自分を信頼してくれるのだと感じました。

主に仲良くしていたメンバーでウィーンやローマを訪れ、充実した留学生活を送ることができたのは彼らがいたからと言っても過言ではないと思います。

最初のセメスターは勉強に力を入れず友人たちと遊ぶ日々が続いていました。しかし、当初の目的を再認識し少しずつ机に向かう時間を伸ばしていきました。政治学は日本で学ぶそれとは全く違い、新鮮でこちらの意見を常に要求してくるハイレベルなものでした。しかし、こうした環境を求めている私にとってそれは非常に興味深くやりがいのあるものでした。

この経験を経て、多様な視点で物事を観る力がついたらと自負しています。

留学を通じて最も成長したことは、寛容な心を持ち様々な視点で物事を捉えることができるようになったことであると思います。自己主張が強かった私は、留学を通じ多くの人と出会ったことで多様な考えに触れ、柔軟な考えができるようになったと思います。

また、日本のことを外から観ることができたのも良い経験でした。日本社会というせまい空間の中で生きていては気づけなかった日本の強みや弱みを発見することができたと思っています。

とりあえず海外に出てみるという意識は非常に重要です。しかし、なぜ海外に行く必要があるのか・いまの自分はどのような人間なのか、深く考えてから留学を行えばより内容の濃いものとなるに違いありません。また、受身の姿勢では向こうは助けてくれません。自ら声を上げ主張することで充実した留学を自身の手で築き上げてください。